

国鉄改革完遂！
当たり前前の労働運動を
前進させよう！
JR 東海労に
結集しよう！

J R
東海労

静岡

J R 東海労働組合静岡地方本部
〒420-0851
静岡市葵区黒金町68番地
N T T 054-284-3608
発行責任者： 半場弘恭
2023年 4月8日 No.42

静岡運輸区乗務員詰所の電気時計撤去で「申13号」申し入れる！

鉄道発足以来前代未聞の時計撤去！

今年2月静岡運輸区庁舎の電気時計が撤去されました。その前段では静岡車両区庁舎の時計も撤去されています。現場では多くの社員が問題だと声を上げていました。現場管理者によれば、時計の撤去は全社的に行うとされています。地本は、職場の乗務員の声を全く無視した一方的な撤去であるため、3月31日に「申13号」を申入れました。主な内容は以下のとおりです。

- ◆どのような計画に基づいて撤去したのか明らかにすること。
- ◆どこの指示で撤去したのか。
- ◆維持管理に年間いくらかかるのか明らかにすること。
- ◆職場の時計は撤去せず、撤去した静岡運輸区に新たにかけ時計を設置すること。

私たちは、お客様を安全で時刻表通りの正確な時間で列車を運行しています。その運転士や車掌の一目で見て分かる正確な電気時計を撤去したことは、乗務員の労働環境が大きく変わり精神的負担となりました。お客様は、一目で分かる駅の構内の時計を見て列車に乗り遅れないようにします。同様に、乗務員は詰所の時計を見て次の乗務に遅れないようにします。**正確な時間の管理と時刻の告知は、鉄道発足から引き継がれたお客様へのサービス提供の一部分です。お客様を目的地まで運ぶために、乗務員の労働条件と働きやすい職場環境を整えることも会社の責務です。**効率化や経費節減が先走り、職場の労働条件や環境を悪化させたのでは、安全輸送も脅かされています。「業務改革の推進」を合言葉に、職場で働く者の声を聞かず安全・安定輸送のために必要なものを撤去することは、本末転倒です！